オキカラーページプリンタ
MICROLINE 9055cV/3050cV/3020cV
簡易カラーコピーユニット/コピーユニット用オートフィーダ

ユーザーズマニュアル

○このマニュアルには、簡易カラーコピーユニットを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。 コピーユニットをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
○本マニュアルをコピーユニットのそばに置いて、ご使用ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてOAコールセンタへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がコピーユニット内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてOAコールセンタへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をコピーユニット内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	コピーユニットを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてOAコールセンタへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、電源アダプタ、プリンタケーブルは、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	オートフィーダに物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをコピーユニットの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。

⚠警告

	コピーユニットの原稿台カバーや原稿台の上に重い物を置かないでください。

⚠注意

	電源投入時および原稿の読み取り中は、用紙の吸排出部に近づかないでください。 **ケガをするおそれがあります。**

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- 簡易カラーコピーユニット→ コピーユニット
- コピーユニット用オートフィーダ→ オートフィーダ
- MICROLINE 9055cV → ML9055cV
- MICROLINE 3050cV → ML3050cV
- MICROLINE 3020cV → ML3020cV

マーク

コピーユニットを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

コピーユニットを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置をプリンタと接続する場合は、クラスA情報技術装置となります。プリンタと接続して家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをコピーユニット及びプリンタを使用して印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　　刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　等

商標について

MICROLINEは株式会社沖データの商標です。

本書について

1．本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2．本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3．本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4．本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

すべての権利は、株式会社沖データに属しています。無断で複製、転記、翻訳等を行なってはいけません。必ず、株式会社沖データの文書による承諾を得てください。

著作権について

著作権によって保護された資料は、国内の法律の規定範囲でのみコピーできます。違法にコピーを行うと罰せられます。

保証について

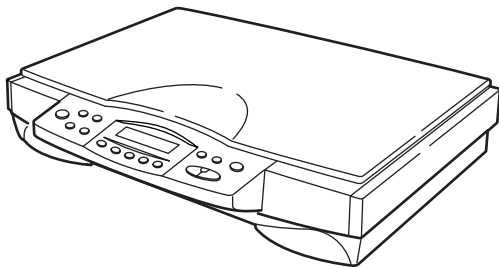
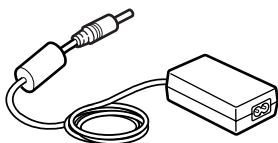
沖データは、本製品によりコピーされた資料の運用に関わる直接的、間接的、派生的な結果に対しては一切責任を負わないものとします。

目　次

1 コピーユニットを設置します

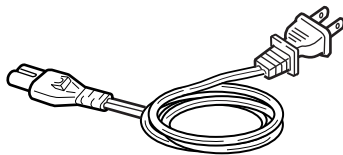
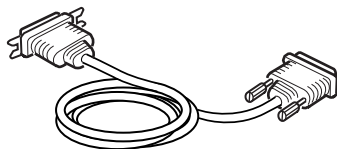
製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

☐ 簡易カラーコピーユニット（本体）

☐ AC アダプタ

☐ 電源コード

☐ プリンタケーブル

☐ ユーザーズマニュアル（本書）

☐ 保証書

注　**梱包箱、緩衝材はコピーユニットを輸送するときに使います。捨てずに保管してください。**

コピーユニットの特長

本コピーユニットは、ML9055cV, ML3050cV, ML3020cV プリンタに対応し、以下の特長があります。

小型・軽量

小型化（477 × 356 × 98mm）、軽量化（コピーユニット本体のみ 3.9kg）を実現しました。

簡単操作

コピーユニットの動作条件をあらかじめ設定しておくことにより、カラー、モノクロいずれのコピーもワンタッチで取ることができます。

写真／文字の自動判定

原稿の写真部分、文字部分を適確に判定し、原稿のそれぞれの部分に合わせて自動的に読み取りの処理が行われるため、写真、文字それぞれの部分が鮮やかにコピーできます。（自動モード使用時）

3次元物体のコピー

CCD（Charge Coupled Device）技術を最大限に利用し、数mmの厚さを持つ物体のコピーも可能です。

縮小・拡大

最小25%の縮小から最大400%の拡大まで、1%単位で縮小または拡大コピーを取ることができます。

A3用紙への印刷

本コピーユニットの持つ機能を利用して、A3 用紙への拡大コピーが可能です。

原稿の自動給紙

オプションのコピーユニット用オートフィーダを取り付けることにより、25ページまでの自動原稿給紙が可能です。

コピーユニット各部の名前

操作パネル

原稿台カバー

原稿台

原稿セットマーク

〈インタフェース部〉

TO PRINTER

TO PC PARALLEL PORT

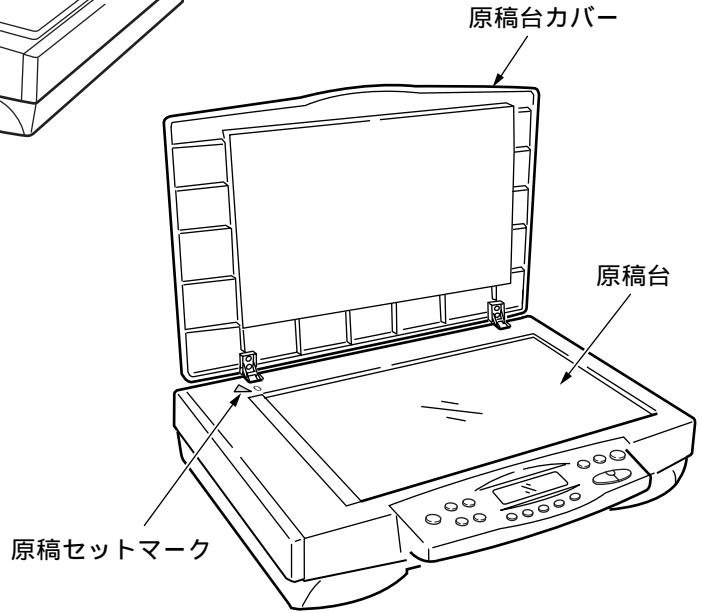
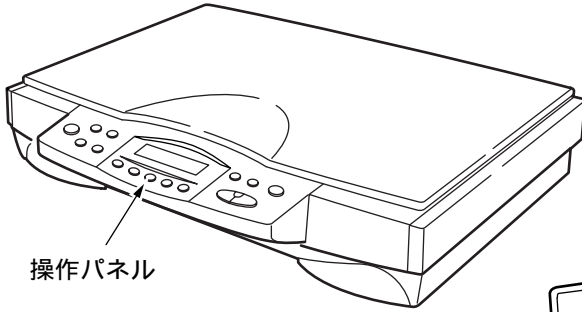
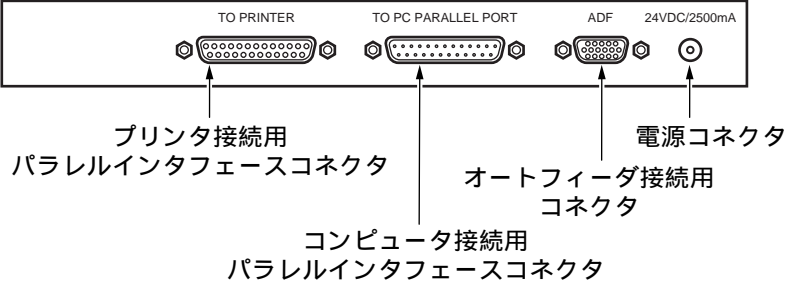
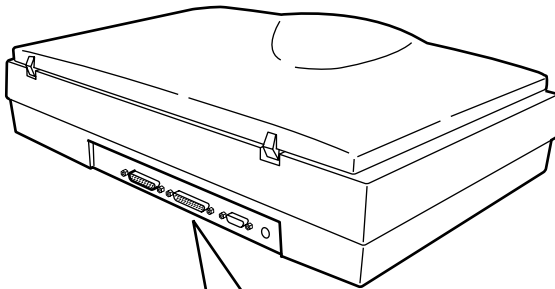
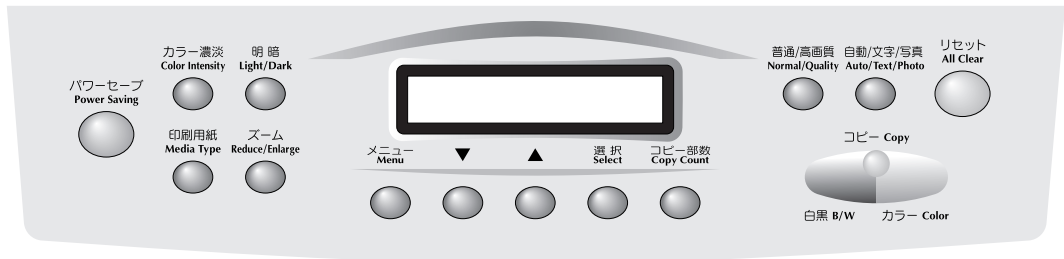
ADF

24VDC/2500mA

プリンタ接続用
パラレルインタフェースコネクタ

電源コネクタ

オートフィーダ接続用
コネクタ

コンピュータ接続用
パラレルインタフェースコネクタ

操作パネル

表示部

コピーユニットの設定内容、状態、障害が発生したときの内容を 16 文字で表示します。

「コピー」ランプ（緑）

電源コードをコピーユニットに接続すると本ランプが点灯し､コピーユニットに電源が入ったことを示します。
点灯：コピーを開始できる状態（待機状態）です。
点滅：コピー中です。
ゆっくり点滅：省電力モード中です。

コピースイッチ

「白黒」スイッチ

モノクロコピーを開始します。

「カラー」スイッチ

カラーコピーを開始します。

「パワーセーブ」スイッチ

省電力モード中に押すと、待機状態になります。
待機状態で押すと、省電力モードになります。

「リセット」スイッチ

待機状態で押すと､「カラー濃淡」､「明暗」､「印刷用紙」､「ズーム」､「コピー部数」､「普通 / 高画質」､「自動 / 文字 / 写真」スイッチで設定した内容が初期値に戻ります。
メニューモード中に押すと､待機状態に戻ります。
コピー中に押すと､コピーがキャンセルされます。

設定変更スイッチ

「メニュー」スイッチ

待機状態で押すと、メニューモードに入ります。
メニューモード中に押すと､設定項目を1つ進めます。

「▲」スイッチ

メニューモード中に押すと､設定値を1つ進めます。

「▼」スイッチ

メニューモード中に押すと､設定値を1つ戻します。

「選択」スイッチ

メニューモード中に押すと､表示中の設定値を保存し、表示部の右端に“ ＊ ”を表示します。

個別設定スイッチ

「普通/高画質」スイッチ

コピーの画質を設定します。

「自動/文字/写真」スイッチ

原稿の種類に応じて読み取りモードを設定します。

「コピー部数」スイッチ

印刷部数を設定します。

「ズーム」スイッチ

縮小率、拡大率を設定します。

「印刷用紙」スイッチ

印刷する用紙の種類を設定します。

「明暗」スイッチ

コピーの濃度を設定します。

「カラー濃淡」スイッチ

コピーの色の鮮やかさを設定します。

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  周囲温度　：　10～35°C
  周囲湿度　：　20～80%RH
- 周囲湿度が20%以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

設置に関する注意

⚠警告

- 高温や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。
- 平面な安定した場所へ設置してください。紙づまりを起こしたり、その他の損傷が発生する場合があります。

⚠注意

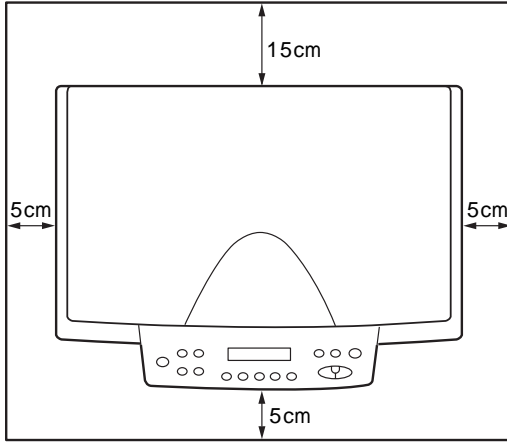
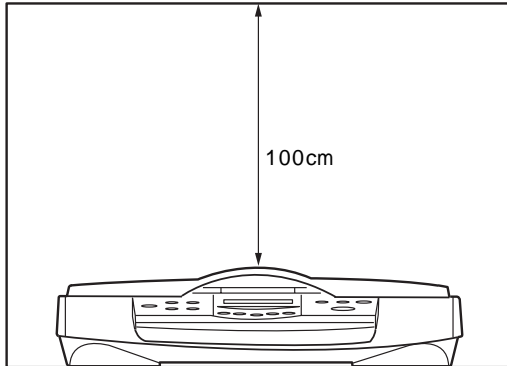
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- コピーユニットを移動するときは、コピーユニットの両側を持ってください。

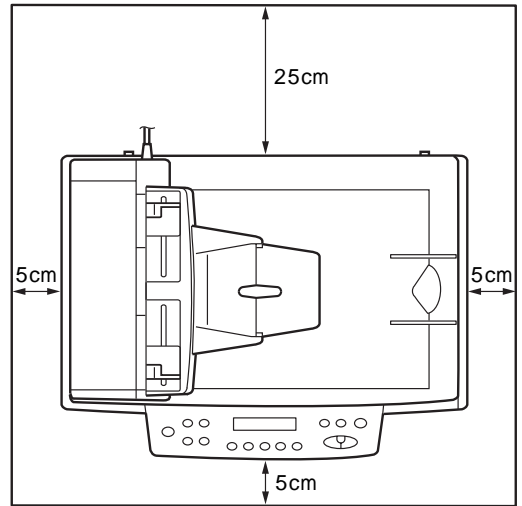
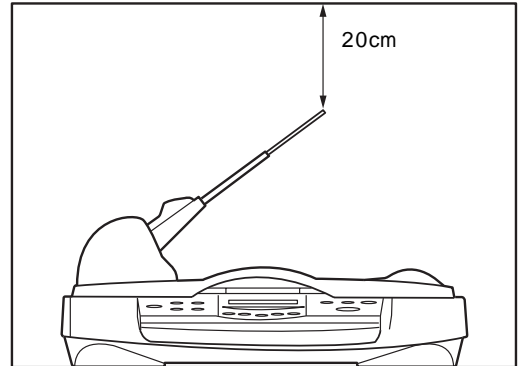
設置スペース

- コピーユニットの足が乗る大きさの平らな机の上に置いてください。
- コピーユニットの周りに十分なスペースを取ってください。

標準状態

平面図

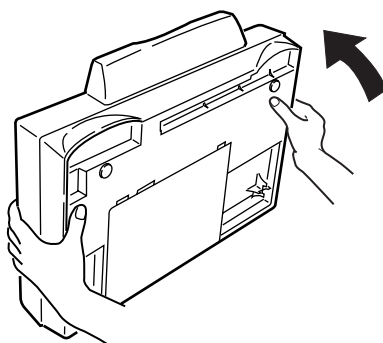
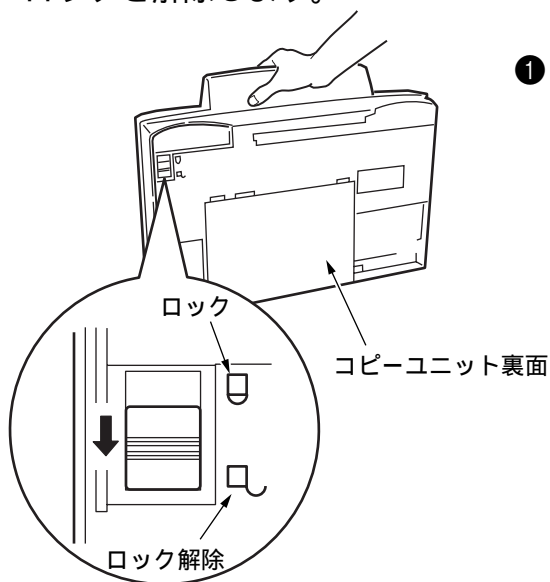
側面図

オートフィーダ（オプション）装着時

平面図

側面図

スキャナ機構のロックを解除します

コピーユニットは輸送時の保護のためにスキャナ機構がロックされています。電源を入れる前に、必ずコピーユニット裏面にあるスキャナ機構のロックを「アンロック」位置に切り替え、ロックを解除してください。

- **電源を入れたときに操作パネルに［エラーコード　7］が表示された場合は、スキャナ機構のロックが解除されているか、再度確認してください。**
- **コピーユニットを輸送するときは、スキャナ機構をロックしてください。**

1 コピーユニットの裏側が見えるように傾けます。

原稿台カバーが開かないように手で押さえてください。

2 ロックを解除します。

❶ コピーユニット裏面にあるロックを矢印の方向に動かします。

3 コピーユニットを元の状態に置きます。

電源を入れます

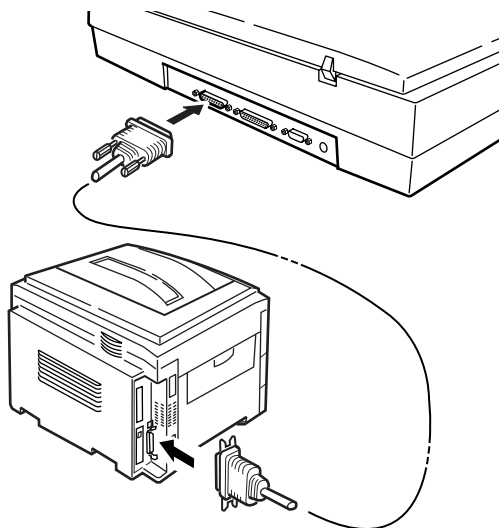
電源の条件

- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）　：　100V ± 10V
  電源周波数　：　50Hz または 60Hz ± 1Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本コピーユニットの最大消費電力は20Wです。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- プリンタに付属の AC アダプタを使用してください。

⚠警告

- **電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。**
- **電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。**
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
- **電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。**
- **電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。**
- **破損した電源コードを使用しないでください。**
- **たこ足配線はしないでください。**
- **本コピーユニットと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってコピーユニットが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。**
- **添付の電源コードのみで使用してください。**
- **延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格15A以上のものを使用してください。**
- **延長コードを使用すると、AC電圧降下により、コピーユニットが正常に動作しない場合があります。**
- **コピー中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。**
- **連休や旅行で長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。**

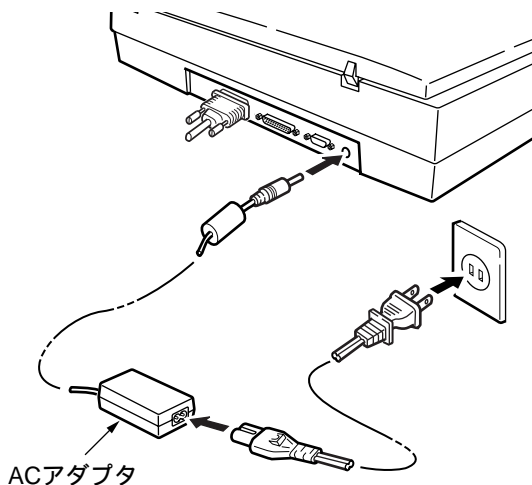
1 プリンタの電源が OFF になっていることを確認します。

2 プリンタケーブルで、プリンタとコピーユニットを接続します。

❶ コピーユニット添付のプリンタケーブルをプリンタのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、金具で固定します。

❷ プリンタケーブルをコピーユニットのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、ネジで固定します。

3 プリンタの電源を ON にします。

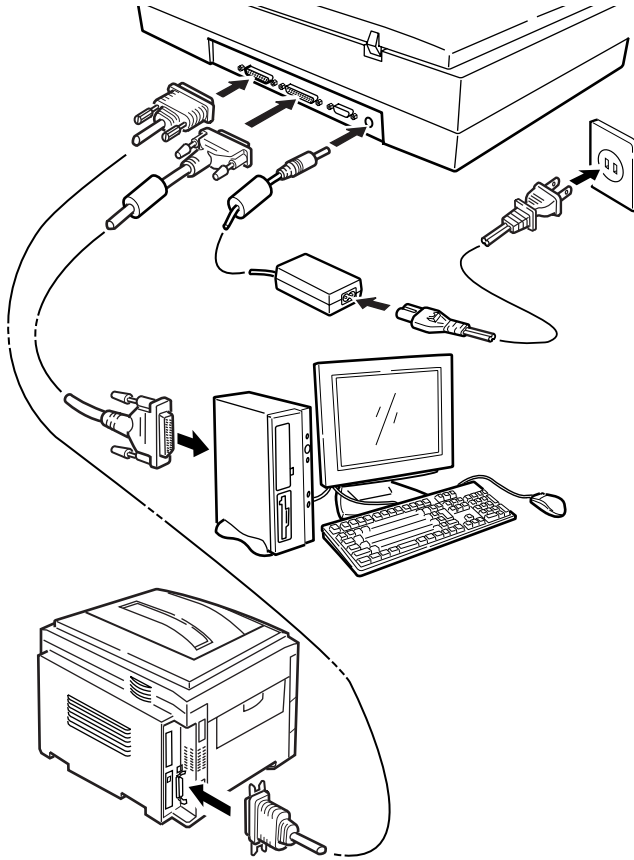
4 コピーユニットの電源コードを接続します。

コピーユニットには電源スイッチがありません。電源プラグを差し込むと、起動します。

❶ 電源コードを AC アダプタに接続します。

❷ AC アダプタをコピーユニットに接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

完全に起動すると、コピーユニットの操作パネルに［1　コピー@ 100%］と表示されます。

メモ **電源を切る場合は、電源コードを抜いてください。**

メモ **コンピュータとプリンタをパラレルインタフェースで接続している場合は、下記のように接続してください。**

❶ プリンタとコンピュータを接続しているケーブルを外します。

❷ 付属のプリンタケーブルでプリンタとコピーユニットを接続します。

❸ コピーユニット中継ケーブル（オプション）の片方をコピーユニットのパラレルインタフェースに、もう片方をコンピュータのパラレルインタフェースに差し込み、ネジで固定します。

- **コピー中にコンピュータから印刷しないでください。**
- **コンピュータから印刷しているときにコピーしないでください。**
- **コンピュータに USB インタフェースがある場合は、USB ケーブルで直接プリンタと接続することをおすすめします。**

プリンタの機種名を設定します

コピーユニットを接続するプリンタの機種名を設定します。

注 **プリンタの機種名を設定しないと、正しくコピーが行われない場合があります。**

P：ML３０２０cV（xx）▲▼＊

*	「1 ▲▼ ML３０２０cV（xx）」	ML3020cV
	「2 ▲▼ ML３０５０cV（xx）」	ML3050cV
	「3 ▲▼ ML９０５５cV（xx）」	ML9055cV

注）xx はカラーテーブルのバージョンを示します。

*印は初期の値です。

❶ 「メニュー」スイッチを数回押し、[P:XXXXXXXXXXXX]（XXXXXXXXXXXX はプリンタの機種名）を表示します。

❷ 「▲」または「▼」スイッチを押し、接続するプリンタの機種名を表示します。

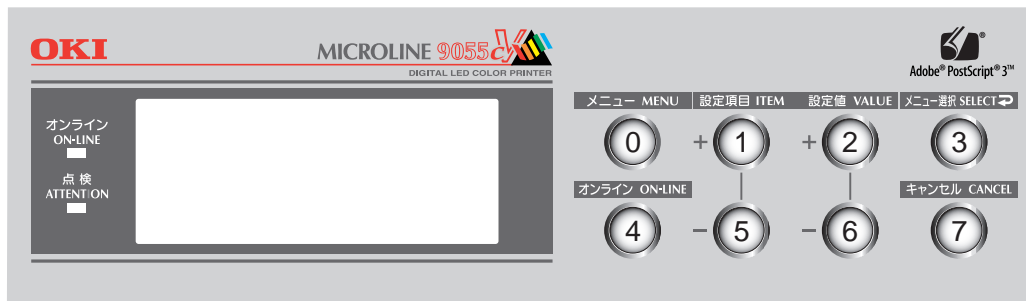
❸ 「選択」スイッチを押し、値の右端に［＊］を付けます。

❹ 「リセット」スイッチを押し、待機状態にします。

2 コピーします

プリンタの印刷条件を設定します

コピーの前に、プリンタの操作パネルでプリンタの印刷条件（給紙方法、排出方法、メディアウェイト、メディアタイプ）を設定します。
設定方法は「プリンタの操作パネルで給紙方法と排出方法を設定します」（21ページ）、「プリンタの操作パネルでメディアウェイトとメディアタイプを設定します」（23ページ）　をご覧ください。
操作パネルの機能については、プリンタ本体のユーザーズマニュアル　セットアップ編の「操作パネル」をご覧ください。

〈プリンタの操作パネル〉

プリンタの印刷条件を正しく設定していないと、思わぬコピー結果になることがあります。必ず設定を行ってください。

プリンタの操作パネルで給紙方法と排出方法を設定します

プリンタの操作パネルで［キュウシ　トレイ］、［シュツリョク　ビン］を設定します。［キュウシ　トレイ］は給紙方法、［シュツリョク　ビン］は排出方法の設定です。

- **［キュウシ　トレイ］、［シュツリョク　ビン］を適切な値に設定しないと、印刷品質や用紙の走行に問題が起こったり、思わぬ用紙でコピーされるおそれがあります。**
- **用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法、排出方法が異なります。**

1 用紙の種類、厚さ、サイズから給紙方法と排出方法を確認します。

詳しくは、プリンタのユーザーズマニュアル　セットアップ編の「印刷します」の「給紙方法と排出方法を決めます」をご覧ください。
プリンタにオプションのフィニッシャを装着している場合は、フィニッシャのユーザーズマニュアルの「印刷します」の「給紙方法と排出方法を決めます」をご覧ください。
用紙の仕様についてはプリンタのユーザーズマニュアル　リファレンス編の「使用できる用紙について」をご覧ください。

2 プリンタの操作パネルで、［キュウシ　トレイ］を設定します。

ここではトレイ 1 から印刷するときの設定手順（［キュウシ　トレイ］を［トレイ 1］に設定します）を説明します。

❶ 0 を数回押し、［インサツ　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、［キュウシ　トレイ］を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、［トレイ 1］を表示します。

❹ 3 を押し、値の右端に［*］を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

メモ **［キュウシ　トレイ］を［MP　トレイ］に設定した場合は、プリンタの操作パネルで用紙サイズを設定してください。**

ここでは A4 用紙（縦送り）に設定する手順（［MP　トレイ　ヨウシサイズ］を［A4　タテオクリ］に設定します）を説明します。

❶ 0 を数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、［MP　トレイ　ヨウシサイズ］を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、［A4　タテオクリ］を表示します。

❹ 3 を押し、値の右端に［*］を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

3 プリンタの操作パネルで、[シュツリョク　ビン] を設定します。

ここではフェイスダウン(印刷面を裏にして排出)に設定する手順([シュツリョク　ビン]を[フェイス　ダウン] に設定します) を説明します。

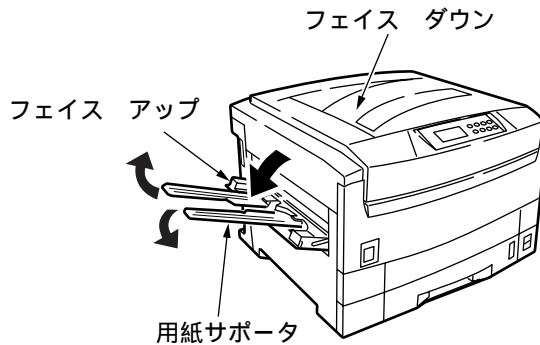
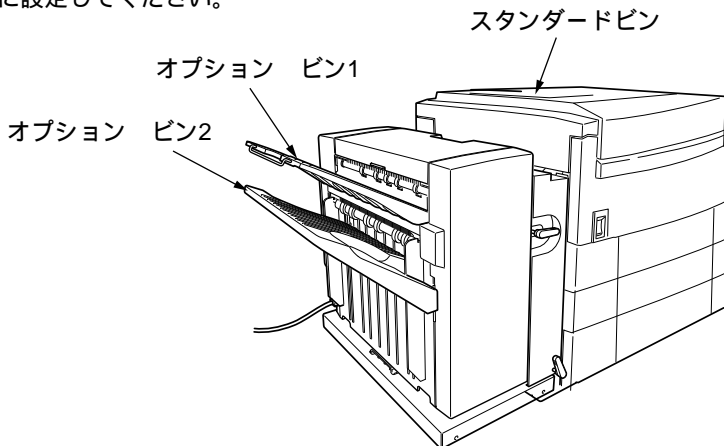
❶ 0 を数回押し、[インサツ　メニュー] を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、[シュツリョク　ビン] を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、[フェイス　ダウン] を表示します。

❹ 3 を押し、値の右端に [＊] を付けます。

❺ 4 を押し、[オンライン] にします。

メモ
- **[フェイス　アップ] (印刷面を表にして排出) に設定した場合は、プリンタ本体側面のフェイスアップスタッカを開いてください。**

- **フィニッシャ (オプション) が装着されているときは、[フェイス　アップ] は設定できません。[スタンダードビン]、[オプション　ビン1]、[オプション　ビン2] のいずれかに設定してください。**

プリンタの操作パネルでメディアウェイトとメディアタイプを設定します

プリンタの操作パネルで［メディアウェイト］、［メディアタイプ］を設定します。
［メディアウェイト］は用紙の厚さ、［メディアタイプ］は用紙の種類に関する設定です。

- **［メディアウェイト］、［メディアタイプ］を適切な値に設定しないと印刷品質が低下したり、プリンタの定着器ユニットを傷めるおそれがあります。**
- **用紙の種類、厚さにより、設定が必要な項目や設定値が異なります。**
- **OHP シートにコピーする場合は、プリンタでの設定は必要ありません。コピーユニットの「印刷用紙」スイッチで［OHP シート］の設定を行ってください。詳しくは「OHP シートにコピーします」（38 ページ）をご覧ください。**

1 用紙の種類と厚さから、メディアウェイト、メディアタイプの設定値を確認します。

詳しくは、プリンタのユーザーズマニュアル　セットアップ編の「印刷します」の「メディアウェイトとメディアタイプを設定します」をご覧ください。

2 プリンタの操作パネルで、［キュウシ　トレイ］に設定したトレイのメディアウェイトを設定します。

ここでは、トレイ 1 で普通紙（70kg）に印刷するときの設定手順（［トレイ 1　メディアウェイト］を［ヤヤアツイカミ］に設定します）を説明します。

❶ 0 を数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、［トレイ 1　メディアウェイト］を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、［ヤヤアツイカミ］を表示します。

❹ 3 を押し、値の右端に［＊］を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

3 プリンタの操作パネルで、［キュウシ　トレイ］に設定したトレイのメディアタイプを設定します。

- **メディアタイプの工場出荷時の設定は［フツウシ］です。普通紙に印刷する場合、以下の設定は必要ありません。**
- **ラベル紙の場合は必ず設定してください。**
- **メディアタイプは［フツウシ］、［ラベルシ］、［OHP］以外は設定しないでください。**

ここでは、マルチパーパストレイでラベル紙に印刷するときの設定手順（［MP トレイ　メディアタイプ］を［ラベルシ］に設定します）を説明します。

❶ 0 を数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

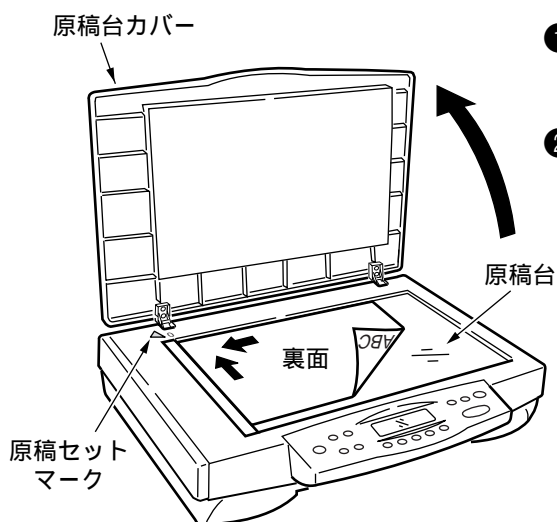
❷ 1 または 5 を押し、［MP　トレイ　メディアタイプ］を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、［ラベルシ］を表示します。

❹ 3 を押し、値の右端に［＊］を付けます。

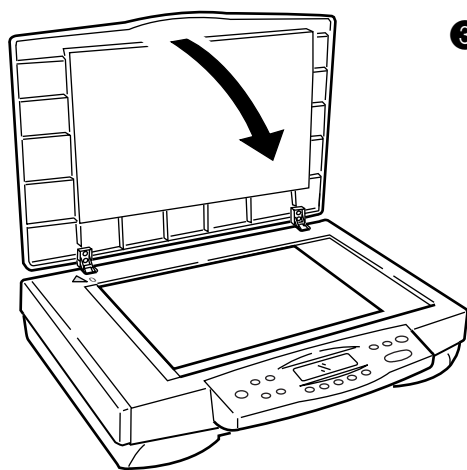
❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

原稿を原稿台にセットします

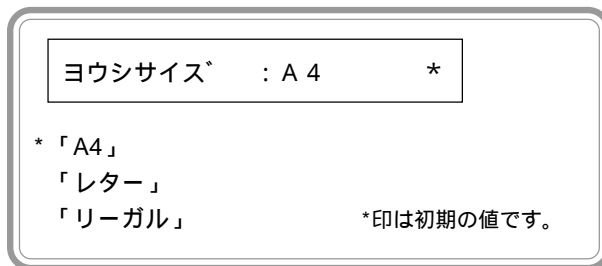
1 コピーする原稿を原稿台にセットします。

❶ コピーユニットの原稿台カバーを開きます。

❷ コピーする原稿を下向きにして、原稿台の左上の原稿セットマークに突き当ててセットします。

❸ 原稿台カバーを閉じます。

注

- セットできる原稿サイズは幅 216mm、長さ 355mm までです。
- 原稿に上下がある場合は、原稿の上部を左側にしてください。
- 原稿はまっすぐにセットしてください。

用紙サイズを設定します

コピーユニットの操作パネルで、コピーする用紙サイズを設定します。

ここでは A4 用紙をコピーする場合を例にしています。

❶ 「メニュー」スイッチを押し、[ヨウシサイズ　：　A4　＊] が表示されることを確認します。

❷ A4 以外の用紙サイズが表示された場合は、「▲」または「▼」スイッチを数回押し、[ヨウシサイズ　：　A4] を表示し、「選択」スイッチを押し、値の右端に [＊] を付けます。

❸ 「リセット」スイッチを押し、待機状態にします。

コピーします

1 プリンタに用紙がセットされているか確認します。

用紙のセット方法については、プリンタのユーザーズマニュアル　セットアップ編の「印刷します」をご覧ください。

2 コピーします。

❶ カラーコピーをする場合は「カラー」、モノクロコピーをする場合は「白黒」コピースイッチを押します。

❷ 操作パネルに［コピー　チュウ］が表示され、コピーランプが点滅します。

❸ コピーが行われます。完了すると、操作パネルに［1　コピー@ 100%］と表示され、コピーランプが点灯します。

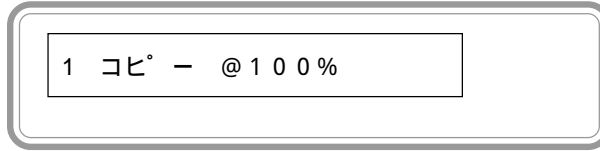
注 **光源を見つめないでください。目を痛めるおそれがあります。**

メモ
- **コピー中に「リセット」スイッチを押すと、コピーがキャンセルされます。**
- **「コピー」スイッチを押す前に、コピーユニットの操作パネルでコピーの内容を設定することができます。詳しくは「知っていると便利です」をご覧ください。**

3 知っていると便利です

注 この章では、「コピーします」のプリンタの操作パネルの各項目がすでに設定されていることを前提に説明しています。

部数を指定します

1～99部の範囲でコピー部数を設定することができます。

❶ 原稿をセットします。

❷「▲」または「▼」スイッチを数回押し、コピーする部数を表示します。「コピー部数」スイッチを数回押すことでも設定できます。

❸「カラー」または「白黒」のコピースイッチを押し、コピーを行います。

拡大・縮小コピーをします

原稿を拡大・縮小コピーします。

シュクショウナシ　：　１００％

＊「シュクショウナシ　：　１００％」
「シュクショウ　：　８６％」
「シュクショウ　：　５０％」
「シュクショウ　：　２５％」
「ジドウ　サイズ　ホセイ」
「カクダイ　：　４００％」
「カクダイ　：　３００％」
「カクダイ　：　２００％」
「カクダイ　：　１４１％」
「カクダイ　：　１２２％」
「カクダイ　：　１１５％」

＊印は初期の値です。

❶ 原稿をセットします。

❷「ズーム」スイッチを押し、現在の設定を表示します。

❸「ズーム」スイッチを数回押し、目的の値を表示します。

❹「カラー」または「白黒」のコピースイッチを押し、コピーを行います。

［ヨウシサイズ］で指定されている用紙の印刷範囲を越える拡大後のイメージデータは印刷されません。

メモ

- **「ズーム」スイッチで拡大・縮小率を表示させた状態で「▲」または「▼」スイッチを押すと、1%単位で25%から400%の任意拡大・縮小率を設定することができます。**
- **拡大・縮小率は、面積に対しての割合です。**
- **［ジドウ　サイズ　ホセイ］に設定すると、［ヨウシサイズ］で設定した用紙サイズに合わせて自動的に拡大･縮小されます。ただし、原稿の背景色が原稿台カバーの色と近い場合は、正しく拡大・縮小されない場合があります。この場合は、拡大・縮小率を設定してください。**
- **主な定型サイズ間の拡大・縮小率は以下のとおりです。**

A4 → B5	86%
B5 → A4	115%
A5 → B5	122%
A5 → A4	141%

A3 用紙に拡大コピーをします

A3 用紙に拡大コピーをすることができます。

❶ 原稿をセットします。

❷ 「メニュー」スイッチを数回押し、[A3　ニ　カクダイ：オフ] を表示します。

❸ 「▲」または「▼」スイッチを押し、[A3　ニ　カクダイ：オン] を表示します。

❹ 「選択」スイッチを押し、値の右端に [*] を付けます。

❺ 「リセット」スイッチを押し、待機状態にします。

❻ プリンタの操作パネルで、[キュウシ　トレイ] を A3 用紙がセットされているトレイに設定します。

ここでは、トレイ 1 に A3 用紙がセットされている場合を例にしています。

① 0 を数回押し、[インサツ　メニュー] を表示します。

② 1 または 5 を押し、[キュウシ　トレイ] を表示します。

③ 2 または 6 を押し、[トレイ 1] を表示します。

④ 3 を押し、値の右端に [*] を付けます。

⑤ 4 を押し、[オンライン] にします。

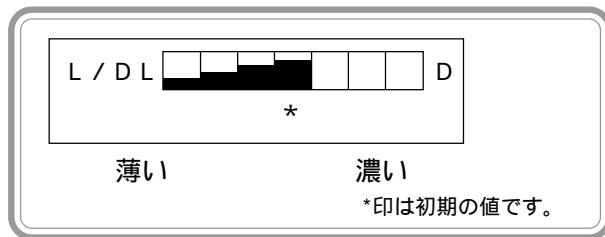
❼ コピーユニットの「カラー」または「白黒」のコピースイッチを押し、コピーを行います。

注

- **[A3　ニ　カクダイ] が [オン] の場合は、[ヨウシサイズ] の設定に応じた拡大率で自動的に A3 用紙サイズに拡大コピーされます。**
- **この設定を行うと常に A3 用紙サイズに拡大コピーされます。使用後は設定を元に戻してください。**

3章

コピーの濃さを調整します

コピーの濃さを７段階で調整することができます。

❶ 原稿をセットします。

❷「明暗」スイッチを押し、現在の設定を表示します。

❸「▲」または「▼」スイッチを数回押し、目的の値を表示します。
「▲」スイッチを押すと濃く、「▼」スイッチを押すと薄くなります。「明暗」スイッチを数回押すことでも設定できます。

❹「カラー」または「白黒」のコピースイッチを押し、コピーを行います。

色の鮮やかさを調整します

色の鮮やかさを 7 段階で調整することができます。

❶ 原稿をセットします。

❷ 「カラー濃淡」スイッチを押し、現在の設定を表示します。

❸ 「▲」または「▼」スイッチを数回押し、目的の値を表示します。
「▲」スイッチを押すと鮮やかに、「▼」スイッチを押すと淡くなります。「カラー濃淡」スイッチを数回押すことでも設定できます。

❹ 「カラー」または「白黒」のコピースイッチを押し、コピーを行います。

原稿に適したモードでコピーします

原稿の種類に適したモードを選択することができます。

ジ゛ド゛ウ　ゲ゛ンコウ　ハンテイ＊

*「ジドウ　ゲンコウ　ハンテイ」	文字、写真を自動的に判別し、それぞれに適したイメージ処理をします。
「モジ　ゲンコウ」	文字に適したイメージ処理をします。
「シャシン　ゲンコウ」	写真に適したイメージ処理をします。

*印は初期の値です。

❶ 原稿をセットします。

❷「自動 / 文字 / 写真」スイッチを押し、現在の設定を表示します。

❸「▲」または「▼」スイッチを数回押し、目的の値を表示します。「自動 / 文字 / 写真」スイッチを数回押すことでも設定できます。

❹「カラー」または「白黒」のコピースイッチを押し、コピーを行います。

メモ
- **モアレが発生する場合、この設定を変更すると、モアレが軽減することがあります。**
- **モアレとは､2つ以上の周期的な画像成分同士の干渉によって発生する周期的なパターンです｡印刷された画像をコピーやスキャナで読み取る場合に発生し､画質を低下させることがあります。**

高画質でコピーします

原稿を読み取る解像度を変更することができます。

フツウカ゛シツ　　　　　＊

* 「フツウガシツ」	300dpi（自動/文字モード）
	210dpi（写真モード）
「コウガシツ」	600dpi（自動/文字モード）
	243dpi（写真モード）

*印は初期の値です。

❶ 原稿をセットします。

❷ 「普通 / 高画質」スイッチを押し、［フツウガシツ］を表示します。

❸ 「▲」または「▼」スイッチを押し、［コウガシツ］を表示します。「普通 / 高画質」スイッチを数回押すことでも設定できます。

❹ 「カラー」または「白黒」のコピースイッチを押し、コピーを行います。

注 **［コウガシツ］に設定すると、［フツウガシツ］に設定したときより、コピーに時間がかかります。**

3章

左右反転イメージをコピーします

原稿を水平方向に反転させたイメージをコピーします。

ミラー　モードﾞ　オフ　　　＊

* 「オフ」
　「オン」

*印は初期の値です。

❶ 原稿をセットします。

❷ 「メニュー」スイッチを数回押し、［ミラー　モード　オフ　＊］を表示します。

❸ 「▲」または 「▼」スイッチを押し、［ミラー　モード　オン］を表示します。

❹ 「選択」スイッチを押し、値の右端に［＊］を付けます。

❺ 「リセット」スイッチを押し、待機状態にします。

❻ 「カラー」または「白黒」のコピースイッチを押し、コピーを行います。

［ミラーモード　オフ］

［ミラーモード　オン］

注 この設定を行うと、常に左右反転が行われます。使用後は設定を元に戻してください。

省電力モードに入るまでの時間を設定します

一定時間コピーユニットの操作を行わないと、省電力モードに入ります。
省電力モードに入るまでの時間を変更することができます。

```
パ゜ワーセーブ゛：15フン　　＊
```

* 「パワーセーブ：15フン」
「パワーセーブ：2ジカン」
「パワーセーブ：4ジカン」
「パワーセーブ：オフ」

*印は初期の値です。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、［パワーセーブ：15 フン＊］を表示します。

❷「▲」または 「▼」スイッチを数回押し、目的の値を表示します。

❸「選択」スイッチを押し、値の右端に［＊］を付けます。

❹「リセット」スイッチを押し、待機状態にします。

メモ **待機状態で「パワーセーブ」スイッチを押すと、メニューの設定にかかわらず、強制的に省電力モードに入ります。
省電力モードから復帰する場合は、再度「パワーセーブ」スイッチを押します。**

OHP シートにコピーします

OHP シートにコピーすることができます。

次の条件に合った OHP シートを使用してください。

- 推奨紙 ： MLOHP01
- 用紙サイズは A4、レターのみ
- 電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用に作られた OHP シート
- プリンタの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きない OHP シート
- 用紙の厚さが 0.10 ～ 0.11mm の OHP シート

- **OHP シートは透明なプラスチックでできているため、印刷品質が低下することがあります。**
- **印刷後はうねりが発生することがあります。**
- **用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。**
- **トナーの定着が低下することがあります。**
- **表面に滑りやすいコーティングをしたOHPシートは滑って吸入できないことがあります。**
- **推奨紙以外のOHPシートを使用すると、種類によっては定着器ユニットのローラに巻きついたりしてプリンタが故障するおそれがあります。**
- **OHP 装置は透過型を使用してください。反射型では良好な投影が得られないことがあります。**

メモ **OHP シートへのコピーは、プリンタの印刷速度が遅くなります。**

---

1 プリンタの操作パネルで印刷条件を設定します。

ここではマルチパーパストレイに OHP シートを縦送りにセットして印刷する手順を説明します。

❶ ［キュウシ　トレイ］を［MP　トレイ］に設定します。

① 0 を数回押し、［インサツ　メニュー］を表示します。

② 1 または 5 を押し、［キュウシ　トレイ］を表示します。

③ 2 または 6 を押し、［MP　トレイ］を表示します。

④ 3 を押し、値の右端に［＊］を付けます。

⑤ 4 を押し、［オンライン］にします。

❷ ［MP　トレイ　ヨウシサイズ］を［A4　タテオクリ］に設定します。

注 **トレイ 1 から印刷する場合には、この設定は必要ありません。**

① 0 を数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

② 1 または 5 を押し、［MP　トレイ　ヨウシサイズ］を表示します。

③ 2 または 6 を押し、［A4　タテオクリ］を表示します。

④ 3 を押し、値の右端に［＊］を付けます。

⑤ 4 を押し、［オンライン］にします。

❸ ［シュツリョク　ビン］を［フェイス　アップ］に設定します。

① 0 を数回押し、［インサツ　メニュー］を表示します。

② 1 または 5 を押し、［シュツリョク　ビン］を表示します。

③ 2 または 6 を押し、［フェイス　アップ］を表示します。

④ 3 を押し、値の右端に［＊］を付けます。

⑤ 4 を押し、［オンライン］にします。

メモ
- **［フェイス　アップ］（印刷面を表にして排出）に設定した場合は、プリンタ本体側面のフェイスアップスタッカを開いてください。**
- **フィニッシャ（オプション）が装着されているときは、［フェイス　アップ］は設定できません。［スタンダードビン］、［オプション　ビン 1］、［オプション　ビン 2］のいずれかに設定してください。**

2 プリンタ本体側面のフェイスアップスタッカを開きます。

3 コピーユニットに原稿をセットします。

4 コピーユニットの操作パネルで印刷用紙を設定します。

❶ 「印刷用紙」スイッチを押し、［プリンタ　セッテイ］を表示します。

❷ 「▲」または「▼」スイッチを押し、［OHP シート］を表示します。「印刷用紙」スイッチを再度押すことでも設定できます。

5 「カラー」または「白黒」のコピースイッチを押し、コピーを行います。

両面コピーをします

プリンタにオプションの両面印刷ユニットを付けると、プリンタの操作パネルで両面印刷の設定を［オン］にすることにより、オートフィーダから両面コピーをすることができます。

3章

注

- **コピーユニットにオプションのオートフィーダが装着されている必要があります。**
- **原稿台からコピーする場合は両面コピーできません。**
- **プリンタにオプションの両面印刷ユニットが装着されている必要があります。**
- **両面印刷できる用紙サイズはA3、A3ワイド、タブロイド、タブロイドエクストラ、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル(13インチ)、リーガル(13.5インチ)、エグゼクティブです。A3ノビ用紙は紙づまりが発生するおそれがあるので保証できません。**
- **両面印刷できる用紙の厚さは、連量70kg～90kg（81～105g/m²）です。それ以外の厚さでは紙づまりの原因になりますので使えません。**
- **マルチパーパストレイからは両面印刷できません。**

1 プリンタの操作パネルで［リョウメン　インサツ］を［オン］にします。

❶ 0 を数回押し、［インサツ　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、［リョウメン　インサツ］を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、［オン］を表示します。

❹ 3 を押し、値の右端に［＊］を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

2 コピーユニットのオートフィーダに原稿をセットします。

3 「カラー」または「白黒」のコピースイッチを押し、コピーを行います。

注 **両面コピーしない場合は、プリンタの操作パネルで［リョウメン　インサツ］の設定を［オフ］に戻してください。**

ホチキス止めをします

プリンタにオプションのフィニッシャを付けると、プリンタの操作パネルでホチキス止めの設定を［オン］にすることにより、ホチキス止めをすることができます。

- **コピーユニットにオプションのオートフィーダが装着されている必要があります。**
- **プリンタにオプションのフィニッシャが装着されている必要があります。**
- **ホチキス止めができる用紙の種類、サイズ、厚さには制限があります。詳しくはフィニッシャのユーザーズマニュアル「フィニッシャの機能について」の「使用できる用紙」をご覧ください。**
- **フィニッシャが装着されているときは、プリンタフェイスアップスタッカは使用できません。**

1　プリンタの操作パネルで［ホチキス］を［オン］にします。

❶ 0 を数回押し、［インサツ　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、［ホチキス］を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、［オン］を表示します。

❹ 3 を押し、値の右端に［＊］を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

2　プリンタの操作パネルで［シュツリョク　ビン］をフィニッシャフェイスダウン（［オプション　ビン 2］）にします。

❶ 0 を数回押し、［インサツ　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、［シュツリョク　ビン］を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、［オプション　ビン 2］を表示します。

❹ 3 を押し、値の右端に［＊］を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

3　コピーユニットのオートフィーダに原稿をセットします。

注 **原稿が 1 枚のみ、または原稿台からコピーする場合は、1 枚にホチキス止めされます。**

4　「カラー」または「白黒」のコピースイッチを押し、コピーを行います。

注 **ホチキス止めをしない場合は、プリンタの操作パネルで［ホチキス］の設定を［オフ］に戻してください。**

パンチをします

プリンタにオプションのフィニッシャを付けると、プリンタの操作パネルでパンチの設定を［オン］にすることにより、パンチをすることができます。

- **プリンタにオプションのフィニッシャが装着されている必要があります。**
- **パンチができる用紙の種類、サイズ、厚さには制限があります。詳しくはフィニッシャのユーザーズマニュアル「フィニッシャの機能について」の「使用できる用紙」をご覧ください。**
- **フィニッシャが装着されているときは、プリンタフェイスアップスタッカは使用できません。**

3章

1 プリンタの操作パネルで［パンチ］を［オン］にします。

❶ 0 を数回押し、［インサツ　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、［パンチ］を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、［オン］を表示します。

❹ 3 を押し、値の右端に［*］を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

2 コピーユニットのオートフィーダに原稿をセットします。

3 「カラー」または「白黒」のコピースイッチを押し、コピーを行います。

注

パンチしない場合は、プリンタの操作パネルで［パンチ］の設定を［オフ］に戻してください。

コピーユニットの初期設定項目一覧

「設定値」の網掛けは初期の値です。

操作パネル表示		内　容
設定項目	設定値	
ヨウシサイズ	A4	印刷する用紙サイズを設定します。
	リーガル	
	レター	
ミラー　モード	オフ	鏡像反転（ミラー）コピーを行うかどうか設定します。
	オン	
P:ML3020cV(xx)	1⬍　ML3020cV(xx)	コピーユニットを接続して使用するプリンタの種類を設定します。
	2⬍　ML3050cV(xx)	注）xxはカラーテーブルのバージョンを示します。
	3⬍　ML9055cV(xx)	
A3　ニ　カクダイ	オフ	設定値が［オン］の場合は、「ヨウシサイズ」の設定に応じた拡大率でA3用紙サイズに拡大コピーされます。
	オン	
パワーセーブ	15フン	省電力（パワーセーブ）モードに入るまでの時間を設定します。
	2ジカン	［オフ］の場合は、省電力モードに入りません。
	4ジカン	
	オフ	
ジドウ　ゲンコウ　ハンテイ	ジドウ　ゲンコウ　ハンテイ	原稿が文字主体か写真主体かを設定します。文字と写真が混在する場合は、［ジドウ　ゲンコウ　ハンテイ］を指定します。
	モジ　ゲンコウ	
	シャシン　ゲンコウ	
コウガシツ	フツウガシツ	コピー画質（普通画質と高精細画質）を指定します。
	コウガシツ	高精細を設定すると、コピーに時間がかかります。
C/I　L▁▂▃▄　H	C/I　L▁　H	コピーの色の彩度を7段階のスケールで指定します。
	C/I　L▁▂　H	Hに近づくほどコピーの色が鮮やかになります。
	C/I　L▁▂▃　H	
	C/I　L▁▂▃▄　H	
	C/I　L▁▂▃▄▅　H	
	C/I　L▁▂▃▄▅▆　H	
	C/I　L▁▂▃▄▅▆▇　H	
L/D　L▁▂▃▄　D	L/D　L▁　D	コピーの色の明度を7段階のスケールで指定します。
	L/D　L▁▂　D	Dに近づくほどコピーの色が濃くなります。
	L/D　L▁▂▃　D	
	L/D　L▁▂▃▄　D	
	L/D　L▁▂▃▄▅　D	
	L/D　L▁▂▃▄▅▆　D	
	L/D　L▁▂▃▄▅▆▇　D	
シュクショウナシ：100%	シュクショウナシ：100%	拡大・縮小率を指定します。
	シュクショウ　：　86%	［ジドウ　サイズ　ホセイ］に設定すると、［ヨウシサイズ］で設定した用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。
	シュクショウ　：　50%	
	シュクショク　：　25%	
	ジドウ　サイズ　ホセイ	
	カクダイ　：　400%	
	カクダイ　：　300%	
	カクダイ　：　200%	
	カクダイ　：　141%	
	カクダイ　：　122%	
	カクダイ　：　115%	
プリンタ　セッテイ	プリンタ　セッテイ	印刷する用紙の種類を指定します。
	OHPシート	［プリンタ　セッテイ］の場合は、プリンタ本体の操作パネルのメニューで設定されているメディアウェイト、メディアタイプの情報を使用して印刷されます。

コピーユニットの初期値を変更します

❶「メニュー」スイッチを数回押し、設定する項目を表示します。

❷「▲」または 「▼」スイッチを数回押し、設定する値を表示します。

❸「選択」スイッチを押し、値の右端に［＊］を付けます。

❹「リセット」スイッチを押し、待機状態にします。

個別設定スイッチについて

「コピー」スイッチを押す前に、「コピー部数」、「普通 / 高画質」、「自動 / 文字 / 写真」、「明暗」、「カラー濃淡」、「ズーム」、「印刷用紙」の個別設定スイッチで、コピーの内容を設定することができます。

- **個別設定スイッチでの設定は、「リセット」スイッチを押すまで保存されるため、複数の設定を行ってから印刷をすることができます。**
- **「リセット」スイッチを押すと、個別設定スイッチで設定したすべての項目が、設定前の状態に戻ります。**
- **5 分間コピーユニットの操作をしないと、設定前の状態に戻ります。**
- **個別設定スイッチでの設定の初期値を変更する場合は、「メニュー」スイッチで設定を行ってください。**

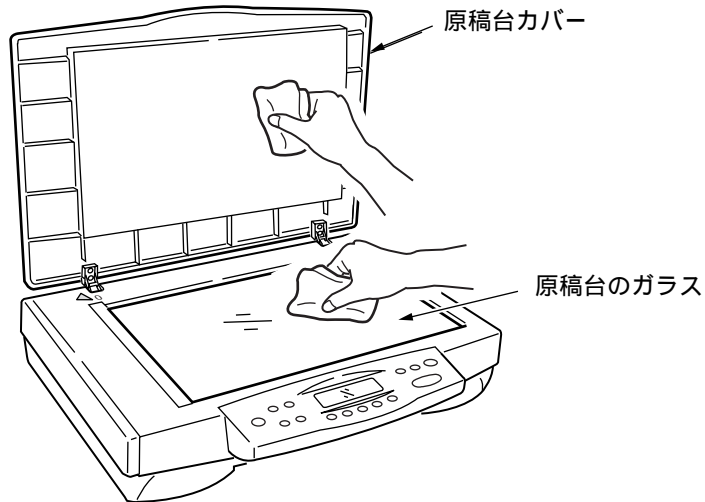
4 メンテナンスをします

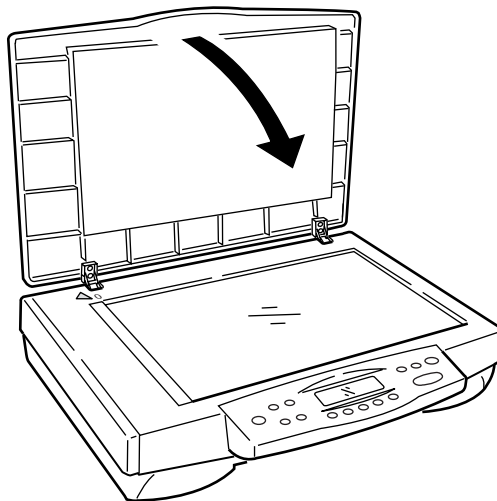
4章

コピーユニットを清掃します

原稿台、原稿台カバーに付着した汚れを取り除きます。

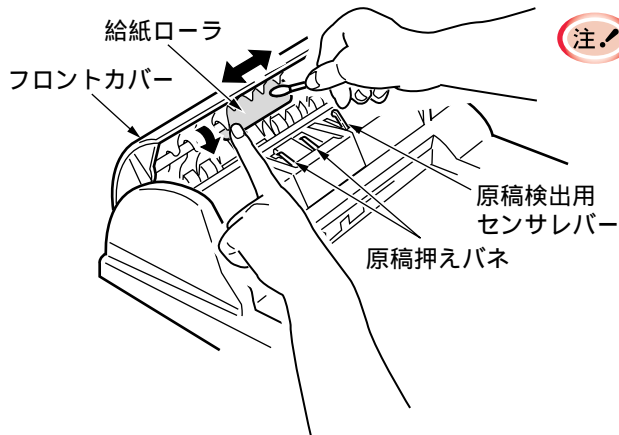
1 コピーユニットの電源を OFF にし、原稿台カバーを開きます。

2 水または中性洗剤を含ませてかたく絞った布で、原稿台のガラスと原稿台カバー裏側の白いシートを軽く拭きます。

注 水または中性洗剤以外は使用しないでください。

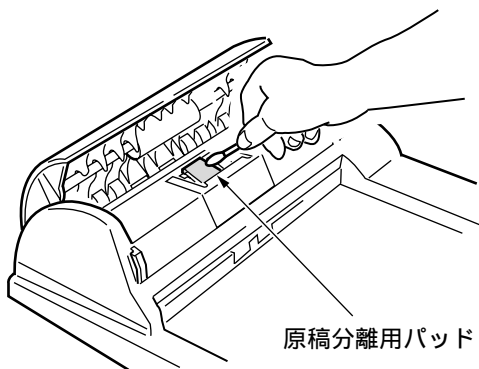
3 原稿台カバーを閉じます。

オートフィーダ（オプション）を清掃します

オプションのオートフィーダの給紙ローラと原稿分離用パッドに付着した汚れを取り除きます。

1 コピーユニットの電源を OFF にし、フロントカバーを開きます。

2 水または中性洗剤を含ませた綿棒で、給紙ローラを指で前方に回転させながら汚れを拭き取ります。

注

- 原稿検出用センサレバー、原稿押えバネ等に傷や衝撃を与えないでください。
- 水または中性洗剤以外は使用しないでください。

3 水または中性洗剤を含ませた綿棒で、原稿分離用パッドを上から下に向かって拭き取ります。

注

- 原稿分離用パッドの周辺に、傷や衝撃を与えないでください。
- 水または中性洗剤以外は使用しないでください。

4 フロントカバーを閉じます。

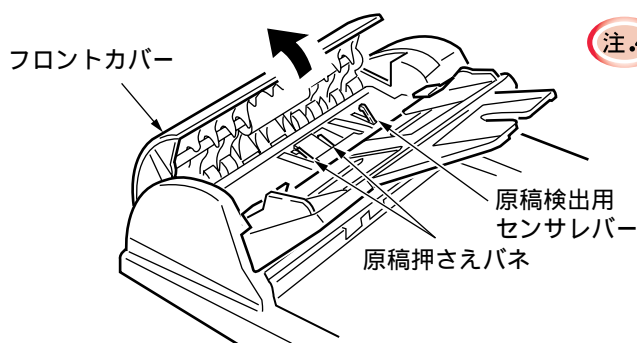
原稿分離用パッドを交換します

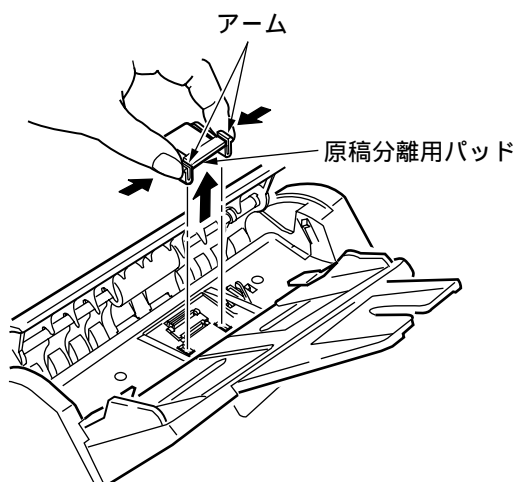
原稿分離用パッド交換の目安

オートフィーダを使用して 約20,000枚の原稿をコピーすると、パッドがすり切れて原稿の給紙に問題が起きる場合があります。この場合には、原稿分離用パッドを交換してください。
交換用の原稿分離パッド（オートフィーダ用舌片）については、お買い求めの販売店かOAセンタへお問い合わせください。OAセンタについてはプリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

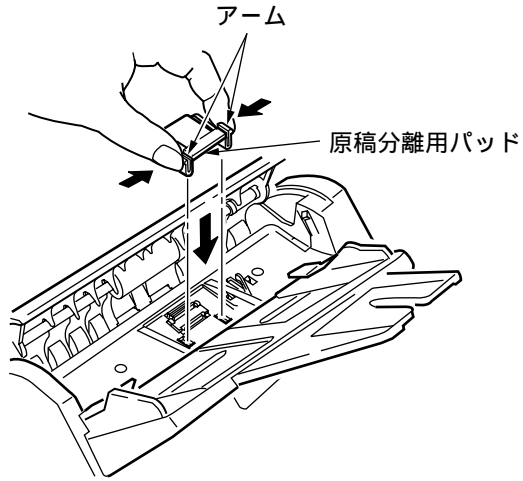
原稿分離用パッドを交換します

4章

1 コピーユニットの電源をOFFにし、フロントカバーを開きます。

原稿検出用センサレバー、原稿押さえバネ等に傷や衝撃を与えないでください。

2 使用済みの原稿分離用パッドを取り出します。

❶ 原稿分離用パッドの両方のアームを、2本の指で内側に押して、引き上げます。

使用済みの原稿分離用パッドは不燃物として処理してください。

3 新しい原稿分離用パッド をセットします。

❶ 原稿分離用パッドを包装袋から取り出します。

❷ 原稿分離用パッドの両方のアームを、2本の指で内側に押し、パチンとはまるまで押し込みます。

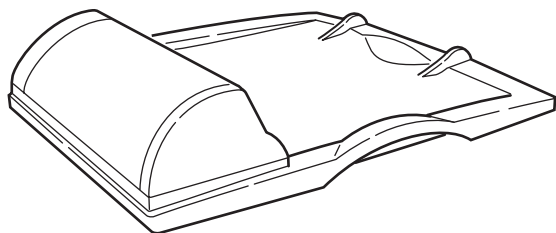
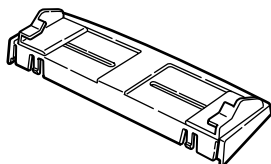
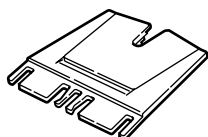
4 フロントカバーを閉じます。

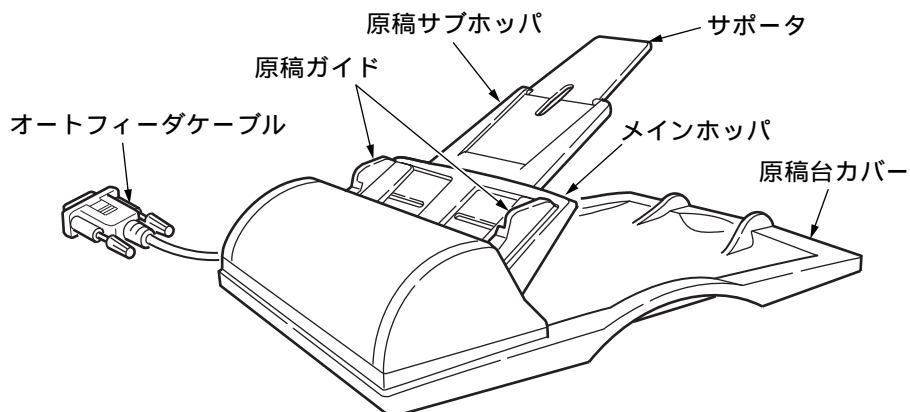
5 コピーユニット用オートフィーダ（オプション）について

製品の確認

用紙厚0.07～0.15mmの用紙を最大25枚まで連続して自動給紙することができるオートフィーダです。用紙幅115～216mm、用紙長140～355mmまでの原稿が使用できます。

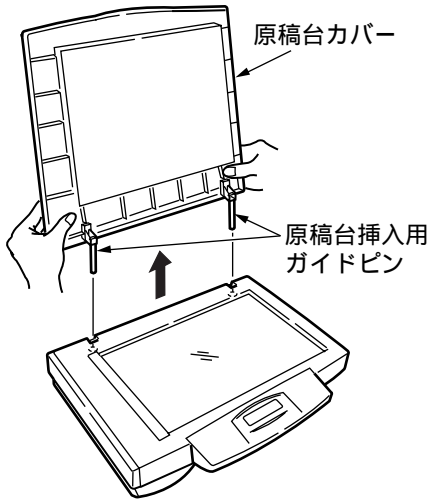
製品が揃っていることを確認してください。

□コピーユニット用オートフィーダ（本体）

□原稿ガイド

□原稿サブホッパ

□保証書

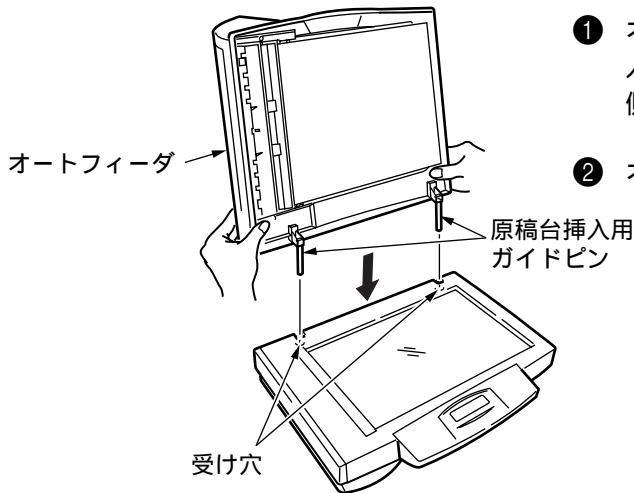
オートフィーダ各部の名称

オートフィーダをコピーユニットに取り付けます

1 コピーユニットの電源コードを抜き、電源を OFF にします。

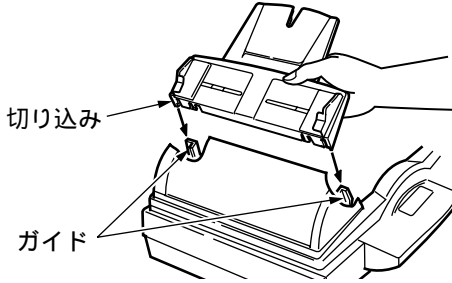
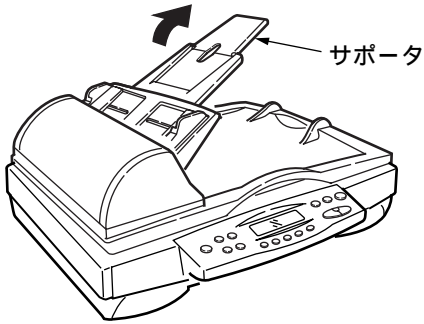
注 電源が入ったまま取り付けると、コピーユニットが故障するおそれがあります。

2 標準で実装されている原稿台カバーを外します。

❶ コピーユニット本体の原稿台カバーを開きます。

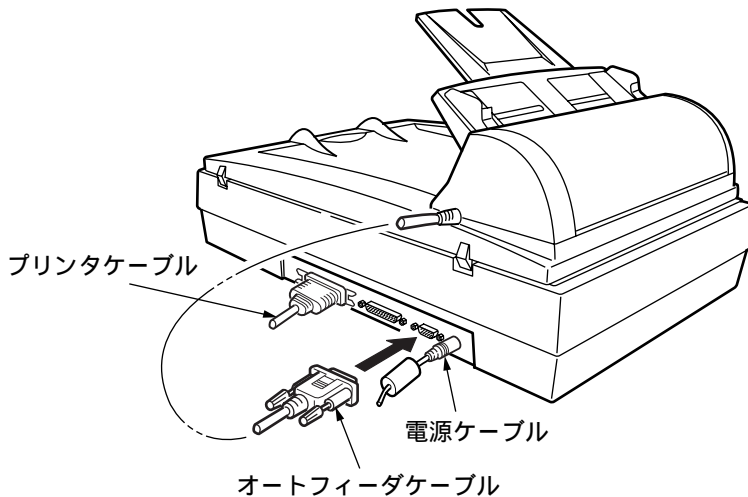
❷ 原稿台カバーをを持ち上げて、原稿台挿入用ガイドピンを矢印方向に合わせて引き抜きます。

3 オートフィーダをコピーユニットに取り付けます。

❶ オートフィーダを持ち上げて、原稿台挿入用ガイドピンをコピーユニットの後ろ側にあるピンの受け穴に挿入します。

❷ オートフィーダの原稿台カバーを閉じます。

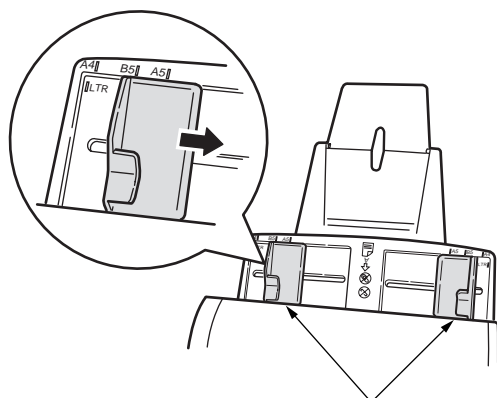
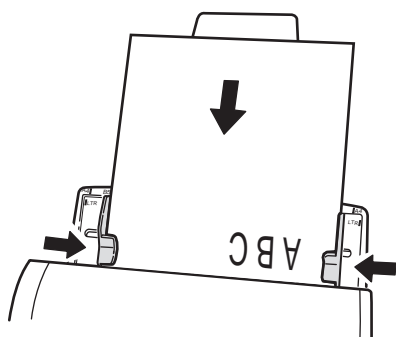
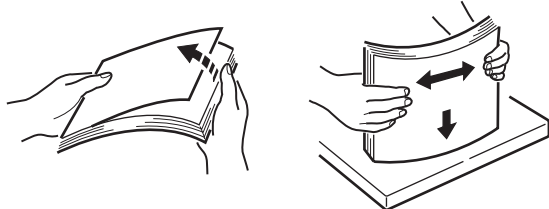
❸ 原稿サブホッパの切り込みのある部分を、原稿ガイドに設けられたガイドに合わせて挿入します。

❹ 原稿ガイドの左右の端の切り込みをオートフィーダの原稿挿入口にあるガイドに沿って差し込みます。

❺ 原稿サブホッパのサポータを起こします。

4 オートフィーダとコピーユニットを接続します

オートフィーダケーブルを、コピーユニット本体背面にあるコネクタに差し込みます。

オートフィーダを使用してコピーをします

1 プリンタの印刷条件を設定します。

詳細は「コピーします」（19 ページ）をご覧ください。

2 原稿をオートフィーダにセットします。

❶ 左右の原稿ガイドを用紙サイズに合わせます。

❷ 原稿をよくさばき、上下左右を揃えます。

❸ コピー面を上に向けて、原稿を原稿ガイドにそって突き当たるまで差し込みます。

❹ 左右の原稿ガイドを軽く押し付けます。

- **適切な温度、湿度に保管した原稿をお使いください。**
- **原稿は 25 枚までセットできます。**
- **用紙に上下がある場合は、上辺を奥にセットします。**
- **ページ順がある場合は、最初のページが一番上になるようにセットします。**
- **サイズ、紙質、厚さの異なる原稿を一度にまとめてセットしないでください。**
- **原稿を追加する場合は、先に入っている原稿を取り出し、追加する原稿と上下左右をそろえてからセットしてください。**
- **原稿をセットした後は原稿ガイドを動かさないでください。**

以下の原稿は、オートフィーダで使用できません。オートフィーダにセットできない原稿は、原稿台を使用してください。

- 幅が115mm以下または216mmを超える原稿、長さが140mm以下または355mmを超える原稿
- 厚さが0.07mm以下または0.15mm以上の原稿
- 表面が平滑（すべすべ）すぎる原稿、粗い（ザラ紙、繊維質）原稿、表と裏の粗さが大きく異なる原稿
- 薄すぎる原稿、厚すぎる原稿、紙粉が多い原稿
- 厚さが一定でない原稿
- 横目の原稿
- 濡れている（湿っている）原稿
- 光沢のある原稿
- 静電気で貼り付いている原稿
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした原稿（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工をした原稿
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある原稿
- 原稿カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある原稿
- 四角い形状でない原稿、裁断角度が直角でない原稿
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある原稿
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている原稿
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 布、金属、OHPシートなど、紙以外の材質でできている原稿
- 封筒

メモ　個別設定スイッチ、設定変更スイッチを設定することができます。詳しくは「知っていると便利です」（27ページ）をご覧ください。

5
章

3 コピーユニットの操作パネルで、用紙サイズを確認します。

詳細は「コピーします」（19ページ）をご覧ください。

4 「カラー」または「白黒」のコピースイッチを押し、コピーします。

6 困ったときには

操作パネルのメッセージ

コピーユニットの操作パネルに表示されるメッセージとその対処方法を説明します。
ここで説明する処置をしても良くならない場合は、OA コールセンタへご連絡ください。
OA コールセンタについてはプリンタ本体のユーザーズマニュアル　セットアップ編の「ユーザサポートサービス」の「プリンタを修理したい」をご覧ください。

ステータス

パネル表示	内　容
ウォーミング　アップ	ウォーミングアップ動作中です。
パワーセーブ	省電力モード中です。いずれかのスイッチを押すと、待機状態に戻ります。
コピー　チュウ	コピー中です。コピー動作が完了すると表示が消えます。
コピー　チュウダン	コピーをキャンセルしています。キャンセルが完了すると表示が消えます。
プレビュー　チュウ	原稿サイズを検出するために予備読み取りを行っています。「ズーム」スイッチで［ジドウ　サイズ　ホセイ］を選択し、コピーする場合に表示されます。
コピーページ：XX	オートフィーダから XX ページ目をコピーしています。
△△　コピー@ XX%	コピーユニットが待機状態です。［△△］はコピー部数、［XX］は拡大・縮小率を示します。
セッテイ　ホゾンチュウ	設定を保存しています。
MLCCU01　VX.XX	コピーユニットの型名とプログラムのバージョン（X.XX）を示します。電源を入れたときに表示されます。

6
章

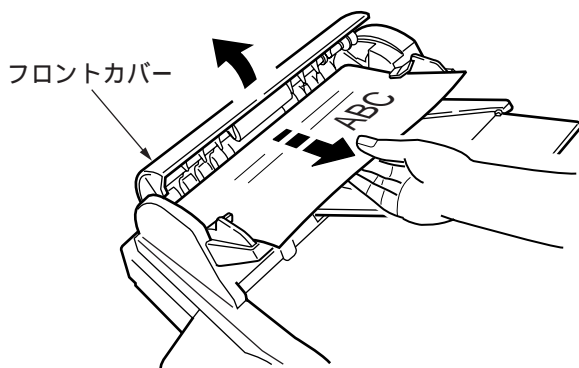
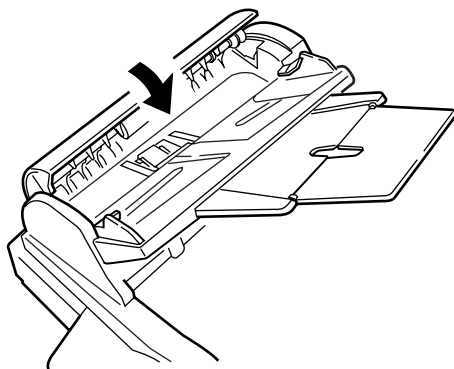
エラー

パネル表示	内　容
プリンタ　オフライン	プリンタが接続されていないか、プリンタがオフラインです。プリンタとの接続状態を確認して、プリンタをオンラインにしてください。
プリンタヲ　カクニン	
ゲンコウ　ジャム！	オートフィーダ（オプション）から給紙する際に紙づまりや給紙ミスが発生ました。つまった用紙を取り除いてください。用紙を取り除いた後、いずれかのスイッチを押すと、待機状態に戻ります。
ヨウシヲトリノゾイテクダサイ	
コピーキーヲ　オシテクダサイ	
コピーヲサイカイシテクダサイ	
エラー　コード：1 〜 3	コピーユニット内部のハードウェアの障害です。 電源を入れ直しても復旧しない場合は、OA コールセンタへご連絡ください。
エラー　コード：4 〜 6	原稿台の原稿を読み取る部分の障害です。 原稿台カバー裏側の白いシートを清掃後、電源を入れ直しても復旧しない場合は、OA コールセンタへご連絡ください。
エラー　コード：7	スキャナ機構のロックが解除されていません。「スキャナ機構のロックを解除します」（14 ページ）に従って、ロックを解除してください。
エラー　コード：9	オートフィーダ（オプション）の障害です。 電源を入れ直しても復旧しない場合は、OA コールセンタへご連絡ください。

紙づまりになったとき

オートフィーダで紙づまりが発生すると、操作パネルに［ゲンコウ　ジャム！］、［ヨウシヲトリノゾイテクダサイ］、［コピーキーヲ　オシテクダサイ］のメッセージが交互に表示されます。次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1 **フロントカバーを開きます。**

2 **オートフィーダから原稿をゆっくり引き出します。**

3 **フロントカバーを閉じます。**

4 **「コピー」スイッチを押し、待機状態にします。**

5 **原稿をセットし直し、「カラー」または「白黒」のコピースイッチを押して再度コピーを行います。**

故障かな？と思ったとき

電源コードを接続しても「コピー」ランプが点灯しない。操作パネルに文字が表示されない。		
電源コードが抜けています。	☞	電源コードをコンセントに差し込んでください。
電源コードと AC アダプタの接続が抜けています。	☞	電源コードをACアダプタに差し込んでください。
AC アダプタとコピーユニットの接続が抜けています。	☞	AC アダプタのプラグをコピーユニットに差し込んでください。
停電しています。	☞	コンセントに電気がきているか、停電していないか確認してください。

コピーを開始しない。		
プリンタケーブルが外れています。	☞	プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルが断線しています。	☞	ケーブルを交換してください。
コピーユニットの操作パネルにエラーが表示されています。	☞	「操作パネルのメッセージ」(58ページ)をご覧ください。
プリンタの操作パネルにエラーが表示されています。	☞	プリンタ本体のユーザーズマニュアル　リファレンス編の「困ったときには」の「操作パネルのメッセージ」をご覧ください。

オートフィーダ（オプション）からコピーが開始されない。		
オートフィーダケーブルが外れています。	☞	オートフィーダケーブルを差し込んでください。

異常音がする。		
コピーユニットが傾いています。	☞	安定した水平な場所に設置してください。

6
章

原稿送りがおかしいとき

オートフィーダ（オプション）で紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。 斜めに引き込まれる。		
コピーユニットが傾いています。	☞	安定した水平な場所に設置してください。
原稿が薄すぎるか厚すぎます。	☞	原稿台を使用してコピーしてください。
原稿が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した原稿を使用してください。
原稿がクリップやホチキスで止められています。	☞	クリップ、ホチキスを外し、原稿をセットし直してください。
原稿に折り目やシワや反りがあります。	☞	原稿台を使用してコピーしてください。
原稿がそろっていません。	☞	原稿の上下左右をそろえてからセットしてください。
オートフィーダに原稿が入ったまま追加しています。	☞	先に入っている原稿を取り出し、追加する原稿を上下左右をそろえてからセットしてください。
原稿がまっすぐにセットされていません。	☞	オートフィーダの原稿ガイドを用紙幅に合わせてください。
特殊紙、紙以外の材質でできている原稿､封筒はオートフィーダにセットできません。	☞	原稿台を使用してコピーしてください。
原稿分離用パッドが寿命を超えています。	☞	原稿分離用パッドを交換してください。

コピーが不鮮明なとき

コピーが汚れる。		
原稿台のガラスが汚れています。	☞	水または中性洗剤を含ませてかたく絞った布で、軽く拭いてください。
原稿台カバー裏側の白いシートが汚れています。	☞	水または中性洗剤を含ませてかたく絞った布で、軽く拭いてください。
オートフィーダ（オプション）の給紙ローラが汚れています。	☞	水または中性洗剤を含ませた綿棒で、軽く拭いてください。
オートフィーダ（オプション）の原稿分離用パッドが汚れています。	☞	水または中性洗剤を含ませた綿棒で、軽く拭いてください。
プリンタの印刷に問題があります。	☞	プリンタ本体のユーザーズマニュアル　リファレンス編の「困ったときには」の「印刷が不鮮明なとき」をご覧ください。

コピーが濃い、コピー全体に色がつく。		
コピーの濃さが濃すぎます。	☞	「明暗」スイッチでコピーの濃さを「L」（薄い）方向に設定してください。
色の鮮やかさが鮮やかすぎます。	☞	「カラー濃淡」スイッチで色の鮮やかさを「L」（淡い）方向に設定してください。
プリンタの印刷に問題があります。	☞	プリンタ本体のユーザーズマニュアル　リファレンス編の「困ったときには」の「印刷が不鮮明なとき」をご覧ください。

コピーが薄い、文字が読みづらい。		
コピーの濃さが薄すぎます。	☞	「明暗」スイッチでコピーの濃さを「D」（濃い）方向に設定してください。
色の鮮やかさが淡すぎます。	☞	「カラー濃淡」スイッチで色の鮮やかさを「H」（鮮やか）方向に設定してください。
プリンタの印刷に問題があります。	☞	プリンタ本体のユーザーズマニュアル　リファレンス編の「困ったときには」の「印刷が不鮮明なとき」をご覧ください。

原稿の用紙の縁が写ってしまう。		
コピーの濃さが濃すぎます。	☞	「明暗」スイッチでコピーの濃さを「L」（薄い）方向に設定してください。

原稿とコピーの画質が違う、モアレが発生する。		
原稿と原稿タイプの設定が合っていません。	☞	「自動/文字/写真」スイッチでコピーする原稿に合わせて画質のタイプを選択してください。

思った色合いでコピーされない。		
「メニュー」スイッチでプリンタの機種名を正しく選択していません。	☞	プリンタの機種名を正しく選択してください。
コピーの濃さが濃すぎるか、薄すぎます。	☞	「明暗」スイッチでコピーの濃さを調整してください。
色の鮮やかさが鮮やかすぎるか、淡すぎます。	☞	「カラー濃淡」スイッチで色の鮮やかさを調整してください。
原稿と原稿タイプの設定が合っていません。	☞	「自動/文字/写真」スイッチでコピーする原稿に合わせて画質のタイプを選択してください。
プリンタの印刷に問題があります。	☞	プリンタ本体のユーザーズマニュアル　リファレンス編の「困ったときには」の「印刷が不鮮明なとき」をご覧ください。

付　録

コピーユニットの仕様

主な仕様

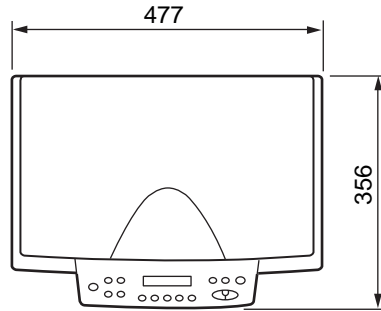
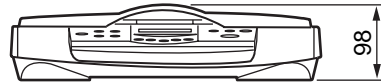
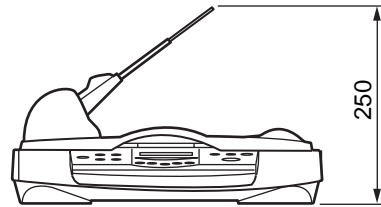
走査方式	フラットベッド
センサ	カラー CCD
解像度	自動／高精細モード　600 × 600 ドット / インチ ／普通モード　300 × 300 ドット / インチ 文字／高精細モード　600 × 600 ドット / インチ ／普通モード　300 × 300 ドット / インチ 写真／高精細モード　243 × 243 ドット / インチ ／普通モード　210 × 210 ドット / インチ
コピーモード	モノクロ、カラー
インタフェース	IEEE1284-1994 準拠パラレル
ファーストコピータイム *1	カラーコピー　A4 ／普通　35 秒 ／高画質　64 秒 白黒コピー　A4 ／普通　22 秒 ／高画質　31 秒
原稿サイズ	原稿台　A4, リーガル、レターの定型紙 または、これらのサイズ以下の原稿 オートフィーダ（オプション）　幅　115 ～ 216mm 長さ　140 ～ 355mm
原稿セット方法	コピーユニットの原稿台によるコピー オートフィーダ（オプション）による自動給紙
オートフィーダ（オプション）の給紙容量	最大 25 枚、厚さ 0.07 ～ 0.15mm
電　源	100V ～ 240V、50/60Hz　外付け電源アダプタ
消費電力	20W 以下　待機時 8.5W
使用環境条件	動作時：10°C～ 35°C、20 ～ 80%　停止時：0°C～ 35°C、10 ～ 80% 保存時：-40°C～ 60°C、10 ～ 90%
標準使用条件	平均読み取り枚数　330 枚 / 月
定期交換部品	原稿分離用パッド（オートフィーダ用舌片）
装置寿命	5 年
重　量	コピーユニット：3.9 kg　オートフィーダ（オプション）：1.4Kg
対応プリンタ	ML9055cV、ML3050cV、ML3020cV

*1：原稿台、A4、トレイ 1 使用、倍率 100%、片面コピー時

付録

外形寸法

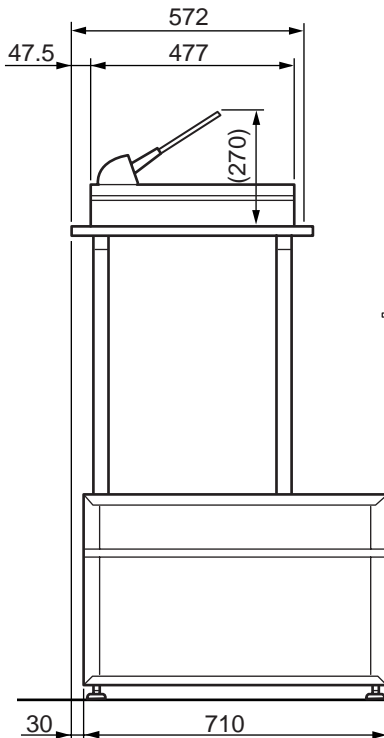
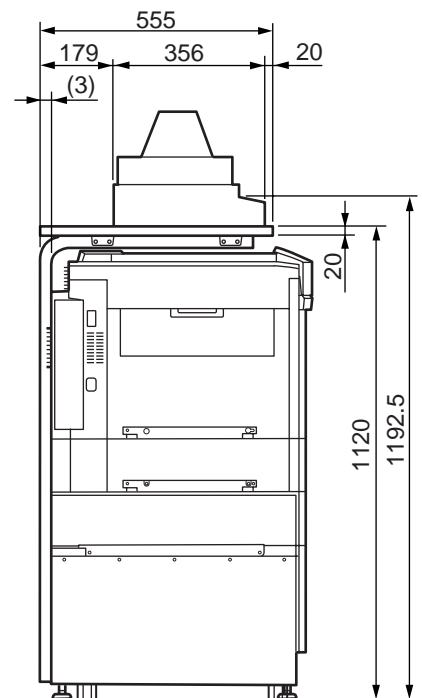
平面図

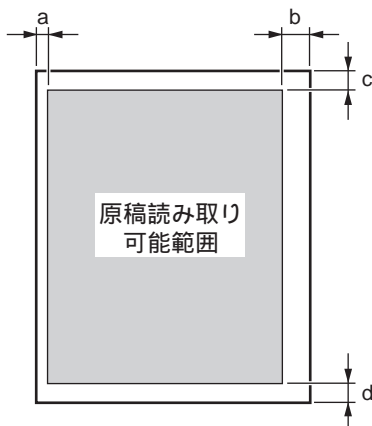
側面図

オートフィーダ（オプション）装着時

コピーユニット用拡張ラック（オプション）、フィニッシャ・コピーユニット兼用台（オプション）使用時

正面図

572
47.5
477
(270)
30
710

側面図

555
179
356
20
(3)
20
1120
1192.5

単位：mm

読み取り可能範囲

単位：mm

原稿サイズ	コピーユニットの［ヨウシサイズ］の設定	a	b	c	d
A4210×297	A4210×297	2	7	4.5	4.5
レター216×279	レター216×279	2	7	4.5	4.5
リーガル216×355	リーガル216×355	2	7	4.5	4.5

- **コピーユニットで読み取ったイメージは、プリンタの印刷可能範囲に合わせて印刷されます。このため、原稿と印刷の位置が少し異なります。**
- **プリンタの印刷可能範囲はプリンタ本体のユーザーズマニュアル　セットアップ編の「印刷範囲と印刷精度」をご覧ください。**

オプション一覧

これらのオプションは、お近くの販売店またはOAセンタでお求めください。OAセンタについてはプリンタ本体のユーザーズマニュアル　セットアップ編の「ユーザサポートサービスについて」の「消耗品を購入したい」をご覧ください。

品　名	型　名	内　容
コピーユニット用オートフィーダ	MLADF01	オートフィーダ
コピーユニット用拡張ラック	MLRAC01	コピーユニットに対応した置き台
フィニッシャ・コピーユニット兼用台	MLTBL02	フィニッシャとコピーユニットに対応した置き台
コピーユニット中継ケーブル	MLRCB01	パラレルケーブル（D-Sub25ピンオス⇔D-sub25ピンメス）

- **オプションは、必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用すると、コピーユニットが故障するおそれがあります。**
- **ご使用になるまで、開封しないでください。**
- **直射日光をさけ、温度：-40～60℃、湿度：10～90%RH範囲にある場所で保管してください。**
- **周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所では保管しないでください。**
- **幼児の手の届かないところに保管してください。**
- **コピーユニット拡張ラックを使用するには、フィニッシャ・コピーユニット兼用台が必要です。**

オキカラーページプリンタ
MICROLINE 9055cV/3050cV/3020cV
簡易カラーコピーユニット/
コピーユニット用オートフィーダ
ユーザーズマニュアル

発行日　2001年 10月　第2版
発行者　株式会社 沖データ

41965301EE

このマニュアルは再生紙を使用しています。